



双塔

カトリック新潟教会

2020年10月
No. 389

司教叙階式の舞台裏で見たもの

主任司祭 ラウール・バラデス

ご存知のように、成井司教様の叙階式は9月22日、この教会で行われました。日本の場合、カテドラルでの叙階式は珍しいと聞いたことがあります。出来るだけ多くの方が参列できるようにと、なるべく広い会場で行われることになっているようです。今回はコロナ禍などの理由も重なり、叙階式は当初の予想とはかなり異なった形で執り行うことになりました。参加者の人数制限や、会場が狭いなどといったデメリットが少なくありませんでした。

しかしながら、同時にメリットもあったように思います。今回はこじんまりと、温かい典礼の雰囲気の中で祭儀が祝われ、それを皆様にネットを通して配信できたのも、今の状況だからこそ可能だったわけです。9月23日現在、叙階式のビデオの再生回数は2000回以上になっているのですが、新潟教区の場合、2000人をひとつの場所に集めることはとても難しいと思います。

私は典礼のことだけで頭がいっぱいになっていたのですが、総務、会場作り、配信係など、それぞれの担当の皆様の懸命な働きを見ながら心から感動いたしました。皆様のお力添えのお陰で今回の叙階式が無事に終わることができました。

思えば昨年度の信仰養成講座では「聖ヒッポリュトスの使徒伝承」[1]を読みながら、初代教会の典礼と信仰生活について皆様と一緒に学んできました。紀元二世紀の初代教会の時代は現在、私たちが生きているこの時代と共通点があるように感じています。この文書を再び開いてみると、多くの試練と混乱のうちにいた信者について、以下のように書いてあります。

「(信者は)熱心に教会に行くように努める。そこは霊が開くところだからである。(第35号)」

それはつまり、神様が各自に与えてくださった「カリスマ」すなわち、恵み、たまもの、能力などは、教会で豊かに開花し、栄え、実り豊かな成果をもたらすことを説明しているのです。

今回の叙階式においてそれは明確に、目に見える形で現われたように感じました。「カリスマ」とは何かしらの力ではなく、愛の奉仕に外なりません。自分の虚栄のために使うものではなく、教会共同体と力を合わせて、ともに寄り添いながら神の愛をあかしするために与えられるものです。

信者数の減少と高齢化が進む中、衰退していくように見えるこの教会には当然ながら「人」が必要ですが、それだけが重要ではないことは上の箇所を読めば分かるでしょう。我々は人間として、信者として、各々は何かの能力、才能、たまものを豊かに授けられたはずです。今こそそれを教会の兄弟と分かち合いながら開花させることができたなら、少人数であっても教会共同体は力強く栄え、人の心を惹きつける、さらなる魅力を持った教会になると確信しています。

ただ、このように各々が持っているたまものを謙虚に提供し合うためには、何が必要なのでしょう。聖パウロが愛の賛歌で言うように、愛がなければ、すべてのたまものは無に等しいものであり、空しいものです。このような愛とは、みことばをとおして教会で身につけて、信仰の仲間たちとの関係の中で実践されるものであって、共同体のこのような愛のあかしによって周囲に福音が広がっていくための、神からこの上なく素晴らしい贈り物なのです。

[1] B・ボットの批判版による初訳、土屋吉正訳、オリエンズ宗教研究所、1987年

そよかぜ便り

■Eテレ「美の壺」の取材で撮影クルーが来ました 8月30日(日)



この夏大掛かりな修理をした新潟教会のオルガンの音色と聖歌の歌声を収録するためNHKの『美の壺(BSプレミアム)』撮影クルーが新潟教会を来訪した。放送予定日は10月16日(金)とのこと。

新潟教会のパイプオルガンは、国内でも古い部類に属するパイプオルガンとされている。その歴史あるパイプオルガンが約30年ぶりにオーバーホール(部品単位まで分解して清掃・再組み立てを行い、新品時の状態に戻すこと)が行われた。修理後もセンター2階でのミサが行われていたので、聖堂でのミサも久しぶり。暑い日だったが、生まれ変わった音色と信徒の歌声が響きわたり、懐かしさとともに再び後世にこの音を残していかなくてはならないと感じた。

また取材の方から『あなたにとってのパイプオルガンの思い出やどのような思い出がありますか』と質問がされた。復活祭、クリスマス、日々のミサにおいて欠かすことができないパイプオルガン。この機会にあなたにとってのパイプオルガンとの思い出や様々な記憶に思いをはせてはいかがでしょうか。



■福島やさい畑の商品委託販売会を行いました 8月30日(日)

コロナ禍に見舞われてから、教会の行事も今までの活動も停止を余儀なくされ、「毎年行ってきた東日本大震災復興支援活動もどうしようか…」と話していたところに福島やさい畑からヘルプのお便りが届いた。総務部、新潟からし種の会、東大畑茶寮が合同で委託販売会をすることとなった。事前予約をしておいた販売会で、この日は注文した商品の受け取り日となった。前回、重たいビン類を教会から家に持って帰るのは大変と購入を諦めた方も今回は自宅への直接配送が可能となったため、新潟教会から20名、寺尾教会から5名が参加した。会場内は大切に梱包されたお値段以上の彩り豊かなお野菜と手作りの素朴さと丁寧で作られた商品が並べられた。



1,500円のお野菜セットには花ニラ、アスパラガス、にんじん、枝豆、きゅうり、ピーマン、なす、プラム、ももの9種類のお野菜が入っていました。



手軽に作れる炊き込みご飯の素や、手軽に食卓に並べられるゴボウサラダやふきおかかはお弁当のおかずにも最適です。加工品はどれも日持ちします。みそポン酢は鍋物のつけだれにピッタリです。これからの新米のおともにピッタリな加工品も多数。お試しあれ。



インフォメーション!

●聖書勉強会について

日時 毎週水曜日 午前 10 時～ 会場 カトリックセンター研究室
 指導 ラウール神父

●はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会について

日時 毎週火曜日 午後 3 時～ 会場 カトリックセンター研究室
 指導 ラウール神父

●信仰養成講座について

「知ってるつもり?!」

日時 9/12 (土) 午前 10 時～11 時 会場 カトリックセンター研究室
 指導 主任司祭 ラウール神父

各勉強会、講座に参加される場合は必ずマスクを着用してご参加ください。

●「月曜会」(秋田の聖母を通して祈る会)のご案内

内容 成井司教のミサとロザリオの祈り (どなたでも。ミサのみ参加も可)。

今後の予定 10/12、11/16、12/14

会場 新潟教会小聖堂

●感謝! 東日本大震災復興支援活動 2020 第 1 弾～福島やさい畑商品委託販売会(報告)～
 (総務部・新潟からし種の会・東大畑茶寮)

●10月に以下の活動を行います (総務部・新潟からし種の会・東大畑茶寮)

今年、教会のバザーは中止になります。それに伴い 10月に第2弾福島やさい畑商品委託販売会とクララ会修道院クッキー・東大畑茶寮食品販売を行います。

① 献金箱の設置 9/27～10/25 日曜ミサ時設置

カリタスジャパン本部、カリタス南相馬「真ごころ」、仙台教区亙理教会へ送金 (例年と同じ)

② 10/25(日) 福島やさい畑商品委託販売会・支援金募集 →NPO福島やさい畑へ送金
 上越聖クララ会修道院クッキー・東大畑茶寮食品販売 → 収益はカリタスジャパンへ送金

詳細は、毎週のお知らせをご覧ください

2020年10月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等	教会の行事
4日(日)	年間第27主日	・ロザリオの祈り(10:30 ルルド前 雨天中止) ・英語ミサ(12:00) ・センター&外のトイレ清掃(英語ミサ後)

10日(土)		・信仰養成講座「知ってるつもり?!」 (10:00 研究室)
11日(日)	年間第28主日	・ロザリオの祈り(10:30 ルルド前 雨天中止) ・インフルエンザ予防接種(各ミサ後)
18日 (日)	年間第29主日 世界宣教の日<献金>	・ロザリオの祈り(10:30 ルルド前 雨天中止) ・聖堂、センター&外のトイレ清掃(ミサ後) ・広報部会(9:30 ミサ後)
24日(土)		・信仰養成講座 講師:成井大介司教 (新潟教会聖堂・センター2F 13:30~15:30)
25日(日)	年間第30主日	・ロザリオの祈り(10:30 ルルド前 雨天中止) ・教会維持費の整理(9:30 ミサ後) ・野菜・食品販売会(ミサ後)
28日(水)	聖シモンの祝日聖ユダ使徒の祝日	

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ ミサ時間:主日日曜日(7:00 9:30 11:00) 英語ミサ(第1日曜日 12:00)
週日(7:00、金曜日のみ10:00)

9:30のミサ、11:00のミサ2部制で行います。

各回、それぞれ朗読と共同祈願を選出します。急遽、朗読等をお願いすることがありますので、その際は快く引き受けくださるようよろしくお願いします。

カトリック新潟教会のホームページのアドレスが変わりました

美しい画像と最新のお知らせを随時あげている新潟教会のホームページはご覧になりましたか?この度、アドレスが新しくなりました。以前のアドレスにアクセスしても、自動的に新しいアドレスに移動します。今後どうぞご活用ください。

新アドレスと新QRコードはこちら→



<http://cathedral-niigata.jp/>

カトリック新潟教会 月刊「双塔」 毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 小教区評議会 広報部

〒951-8106 新潟市中央区東大畑町通一番町656 TEL:025-222-5024 FAX:025-222-5054